

CR1 対応版インジケーター

CR1 for MT4 用 designed by 素数ソフトウェア

共通説明書 (v2.042)

本ソフトウェアをご使用になる前に必ず使用許諾条件をお読みください。本ソフトウェアを使用した場合、使用許諾条件に同意されたものと見なします。

本説明書で使用している画像の一部は、開発中のものや他のインジケータの画面を使用しています。
一部、画面が最新版と異なる場合があります。

MetaTrader は MetaQuotes Software Corp.の登録商標です。

目次

使用許諾条件.....	3
動作環境.....	5
本ソフトウェアに含まれる CR1 対応版インジケータ.....	6
インストール／バージョン・アップ方法（正式版・試用版共通）	7
インジケータの導入順序についての重要な注意.....	11
全般的な使用上のご注意.....	11
CR1 用インジケータ並べ替えツール.....	12
インジケータを並べ替える手順.....	12
CR1 用インジケータ並べ替えツールの並べ替え結果を元に戻す	14
設定.....	15
高度な設定.....	15
トラブル・シューティング（こんなときは）	16
バージョン履歴.....	17

使用許諾条件

本ソフトウェアをご使用いただくには、この使用許諾条件、および、MetaTrader 4 の使用許諾条件（End User License Agreement）に同意する必要があります。本ソフトウェアを使用された場合、これらの使用許諾条件に同意されたものと見なします。

1. 用語の定義

○ **本ソフトウェア**

この使用許諾条件と同時に配布される MT4 用インジケータ・ファイル（拡張子が ex4 であるすべてのファイル、本文書内では「インジケータ本体」と記載）、および、インジケータ本体と同時に配布され、かつインジケータ本体から参照される一切のファイル、および、CR1 用インジケータ並べ替えツールを指します。

○ **ユーザ**

本ソフトウェアを使用するもしくは使用した個人を指します。

○ **作者**

本ソフトウェアの作者たる素数ソフトウェアを指します。

○ **著作権者**

本ソフトウェアの著作権を有する者を指します。

2. ユーザの権利、義務、禁止事項

1. ユーザは、本ソフトウェアのうち CR1 対応版 MTF ローソクを除く部分を、この使用許諾条件に従って使用できます。ただし、MetaTrader 4 の使用許諾条件（End User License Agreement）がより強い制約を課す場合は、その制約が適用されます。
2. CR1 for MT4 日本語版のライセンス（試用ライセンスを除く）を所持するユーザは、本ソフトウェアの一部である CR1 対応版 MTF ローソクをこの使用許諾条件に従って使用できます。それ以外のユーザは、CR1 対応版 MTF ローソクを試用版としてお使いいただけます。
3. ユーザは、本ソフトウェアの一部、または全部に使用期限が定められている場合には、使用期限が定められている部分において、その使用期限を越えて使用することはできません。
4. ユーザは本ソフトウェアを再頒布してはなりません。ただし、作者または著作権者からの書面による明示的な許諾を得た場合はこの限りではありません。
5. ユーザは、本ソフトウェアの使用権を他人に譲渡してはなりません。

3. 作者および著作権者の権利、義務

1. ユーザがこの使用許諾条件または MetaTrader 4 の使用許諾条件（End User License Agreement）に違反した場合、作者および著作権者は、当該ユーザに対する本ソフトウェアの使用許諾を即時終了させる権利を有します。

4. 免責事項、制約事項

1. 本ソフトウェアは、外国為替証拠金取引やその他のあらゆる取引を勧誘、推奨、助言するものではありません。本ソフトウェアを使用して生じた如何なる結果（投資判断やその結果生じた損益、本ソフトウェアの不具合等による取引プラットフォームの使用不可を含むが、それらに限らない）についても、作者および著作権者は責任を負いません。
2. 本ソフトウェアは現状有姿で提供されます。作者および著作権者は、本ソフトウェアに関して明示的、黙示的を問わずいかなる保証も提供しません。作者および著作権者は、本ソフトウェアの不具合修正や改善などを含むユーザからの要求に応える義務を負いません。
3. 本ソフトウェアは日本国内で使用されることを前提としています。ユーザが本ソフトウェアを日本国外で使用した場合に生じるいかなる法的な問題（当該地域における第三者の知的財産権に関する紛争を含むが、これに限らない）においても、作者および著作権者は責任を負いません。

5. その他

1. 本使用許諾条件に定めのない事項については、日本国の法律によります。
2. 本使用許諾条件に関する訴訟の第一審の専属管轄裁判所は作者または著作権者が指定します。

使用許諾条件、以上

動作環境

本ソフトウェアを動作させるには、以下の OS のいずれかと、Meta Quotes 社の MetaTrader 4 が快適に動作している環境が必要です。

- OS
 - Windows 10 日本語版 64-bit Home Edition; または
 - Windows 10 日本語版 64-bit Professional Edition; または
 - Windows 11 日本語版 64-bit Home Edition; または
 - Windows 11 日本語版 64-bit Professional Edition

MEMO

32-bit 版や日本語版以外の OS については、動作はすると思いますが、原則としてサポートはいたしかねます。また、各 OS においてサービスパックが提供されている場合は、必ず最新のサービスパックを適用の上ご使用ください。

本ソフトウェアに含まれる CR1 対応版インジケーター

本ソフトウェアには下表の CR1 対応版インジケーターが含まれます。それぞれ、CR1 対応版インジケーターと同じバージョンかそれより新しいバージョンの CR1 for MT4 日本語版と組み合わせてお使いください。

ファイル名	バージョン	説明
Bollinger Bands (CR1-ja).ex4	2.034A	ボリンジャー・バンド
Ichimoku (CR1-ja).ex4 Ichimoku-R (CR1-ja).ex4	2.038	一目均衡表 「-R」がついたバージョンは、MT4 に付属しているバージョンに存在するシフト量の間違いが修正されています。「-R」無しのバージョンは、MT4 付属の Ichimoku と同じ動作の CR1 対応版です。
MA Ribbon (CR1-ja).ex4	2.034A	2 本の移動平均線の間に色をつけます
Moving Average (CR1-ja).ex4	2.034A	移動平均線
MTF Candle (CR1-ja).ex4	2.042	マルチ・タイムフレーム・ローソク ※DLL の使用を許可する必要があります。 ※ CR1 for MT4 日本語版のライセンス（試用ライセンスを除く）をお持ちの方は、永久に機能無制限でご使用になれます。 ※CR1 for MT4 日本語版のライセンス（試用ライセンスを除く）をお持ちでない場合、5 分間のみ動作する試用版として動作します。また、2024 年 1 月 1 日以降はご試用になれません。
MTF Moving Average (CR1-ja).ex4	2.034A	マルチ・タイムフレーム移動平均線
ZigZag (CR1-ja).ex4	2.034	ZigZag
RSI (CR1-subwin-ja).ex4	2.034A	RSI (Relative Strength Index)
Stochastic (CR1-subwin-ja).ex4	2.034	ストキャスティック・オシレーター

インストール／バージョン・アップ方法（正式版・試用版共通）

CR1 対応版インジケータ各種を正しく動作させるため、以下の手順に従ってインストール作業を実施してください。

インストーラーを起動する

CR1AwareIndicators-V.VVV-XXXXXXX-Setup.exe（V.VVV の部分には本ソフトウェアのバージョン番号、XXXX の部分には数字が入ります）を起動します。

右図のようなメッセージが表示された場合は、黄色矢印で示した [詳細情報] をクリックします。

※このメッセージは表示されない場合もあります。

すると、[実行] ボタンが現れますので、発行元が SOSU SOFTWARE と表示されていることを確認して、[実行] ボタンをクリックしてください。



[次のページへ進む](#)

インストール先の指定とインストール

インストーラーが起動すると右図のような画面になります。
インストーラーは MetaTrader 4 のインストール先を検出して表示します。

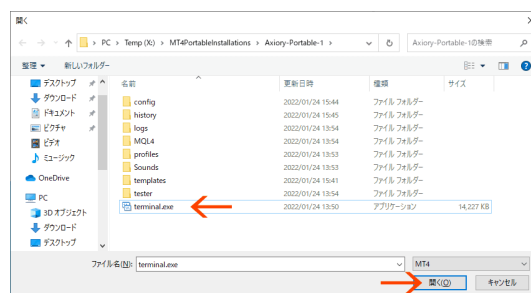
MEMO

ポータブル・モードの MetaTrader 4 は自動検出されませんので、手動でリストに追加する必要があります。



追加するには、「他の MT4 を手動で追加する」ボタンを押して、ポータブルモードの MetaTrader 4 の実行ファイル (terminal.exe) を指定して開いてください。

指定した MetaTrader 4 の実行ファイルを含むフォルダが「MT4 フォルダ」に表示されれば、正しく MetaTrader 4 のインストール先として認識されています。



本ソフトウェアをインストールしたい MetaTrader のチェックボックスをチェックして、画面下部の [チェックした MT4 に CR1 V.VVV をインストールする] ボタンを押してください。

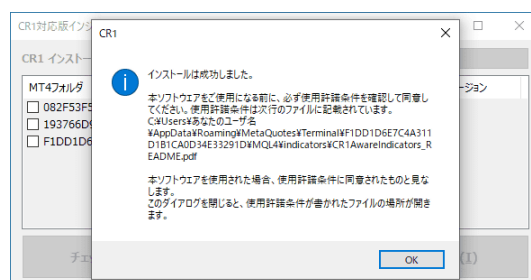
MEMO

CR1 for MT4 日本語版がインストールされていない MetaTrader 4 や CR1 for MT4 日本語版のバージョンが古い MetaTrader 4 にはインストールできません。先に最新版の CR1 for MT4 日本語版をインストールしてください。

インストール作業が完了すると、右図のようにメッセージが表示されます。

MEMO

ここで「インストールに失敗しました」と表示される場合は、いったんパソコンを再起動いただき、起動直後にもう一度「インストーラーを起動する」からやり直してください。



バージョン・アップの場合は、ここで作業は終了です。

新たにインストールされている場合は、次のページの手順にお進みください。

チャートへの導入

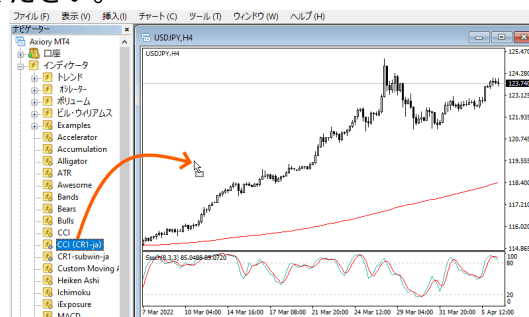
メイン・ウィンドウへの導入

名前の末尾に“(CR1-ja)”とついている CR1 対応版インジケータは、メイン・ウィンドウで動作します。これらのインジケータはこの節で説明する手順で導入してください。

MetaTrader 4 で、[ナビゲーター] が表示されていない場合は、メニューから [表示] → [ナビゲーター] と選んで表示させます。

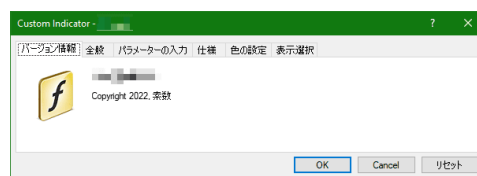
CR1 対応版インジケータを導入したいチャートを開いてください。

ナビゲーターの [インディケータ] 以下から 名前の末尾が“(CR1-ja)”となっているもののうち、ご希望のものを探し、CR1 を導入したいチャートに向かってドラッグ・アンド・ドロップします。



インジケータの設定ダイアログが表示されます。

[パラメーターの入力] タブをクリックし、お好みに合わせて設定を変更してください。



MEMO 【表示時間足の設定について】

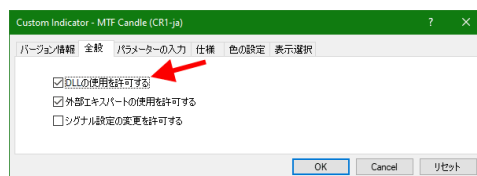
MTF Candle (CR1-ja) 以外の CR1 対応版インジケータ

[表示選択] タブで表示する時間足の設定を変更した場合は、必ず MetaTrader 4 を再起動してください。複数の CR1 対応版インジケータの表示時間足を変更する場合、変更作業をまとめて行い、最後に一度 MetaTrader 4 を再起動すれば OK です。MetaTrader 4 を再起動するまで、インジケータは正しく動作しません。

MTF Candle (CR1-ja)

表示時間足は [表示選択] ではなく、[パラメータの入力] タブで設定してください。

MTF Candle (CR1-ja) の場合のみ、[全般] タブをクリックし、「DLL の使用を許可する」にチェックを入れてください。



[OK] ボタンをクリックすれば、導入作業は終了です。

他にも導入したい CR1 対応版インジケータがある場合は、この節の作業を必要なだけ繰り返してください。「インジケータの導入順序についての重要な注意」も併せてお読みください。

次のページへ続く

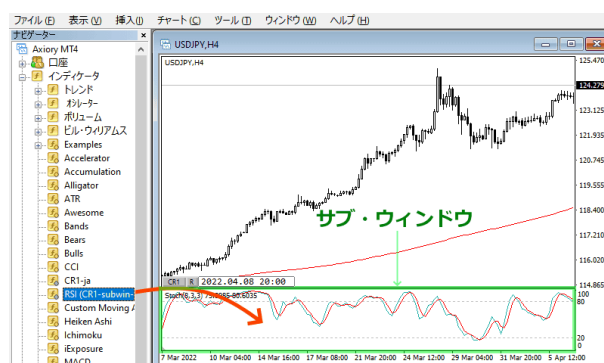
サブ・ウィンドウへの導入

名前の末尾に“(CR1-subwin-ja)”とついている CR1 対応版インジケータは、サブ・ウィンドウで動作します。これらのインジケータはこの節で説明する手順で導入してください。

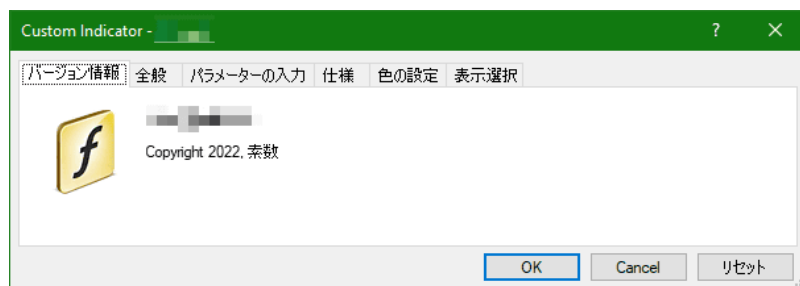
MetaTrader 4 で、[ナビゲーター] が表示されていない場合は、メニューから [表示] → [ナビゲーター] と選んで表示させます。

CR1 対応版インジケータを導入したいチャートを開いてください。

ナビゲーターの [インディケータ] 以下から 名前の末尾が“(CR1-subwin-ja)”となっているもののうち、ご希望のものを探し、チャートの CR1 を導入したいサブ・ウィンドウに向かってドラッグ・アンド・ドロップします。



インジケータの設定ダイアログが表示されます。



[パラメーターの入力] タブをクリックし、お好みに合わせて設定を変更してください。

[OK] ボタンをクリックすれば、導入作業は終了です。

他にも導入したい CR1 対応版インジケータがある場合は、この節の作業を必要なだけ繰り返してください。

「インジケータの導入順序についての重要な注意」も併せてお読みください。

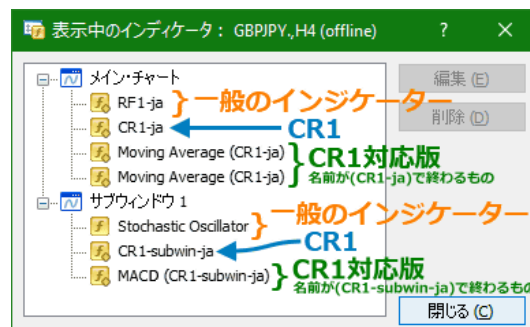
インジケータの導入順序についての重要な注意

CR1 for MT4、および CR1 対応版インジケータを正しく動作させるためには、チャート内でのインジケータの挿入順序を守る必要があります。1つのチャート内では右図のように次の順番でインジケータを挿入してください。

■一般のインジケータ

■CR1-ja (サブ・ウィンドウの場合は CR1-subwin-ja)

■CR1 対応版インジケータ



MEMO

- CR1 対応版インジケータは名称の末尾に“(CR1-ja)”または“(CR1-subwin-ja)”と括弧書きがつきます。
- インジケータの順序を並べ替えるには、「CR1 用インジケータ並べ替えツール」が便利です。

全般的な使用上のご注意

- MetaTrader 4 の「表示中のライン等リスト」機能で、「すべて(L)」が有効になった状態のときにだけ表示されるオブジェクトは削除しないでください。
- 本ソフトウェアに使用期限が設定されている場合、使用期限を過ぎると本ソフトウェアは動作しなくなります。
- 本ソフトウェアをバージョンアップする場合、事前に MetaTrader 4 の標準の機能で本ソフトウェアの設定をバックアップしておくことをおすすめします。本ソフトウェアをバージョンアップすると、設定が初期値に戻される場合があります。
- 本ソフトウェアは、CR1 for MT4 との同期をとるためにイベントを使用します。イベントの番号の範囲が他のインジケータと重複しているとインジケータが誤作動しますので、必要に応じて設定で変更してください。設定を変更する場合、CR1 を使用するチャート全てに対して同じ値を設定してください。本ソフトウェアが使用するイベント番号の範囲は、初期設定では 20995～21026 です。本ソフトウェアは、指定された番号から連続する 32 個の番号を使用します。

ab) ===== 高度な設定 =====	
123) このインジケータが使用するイベントID (この番号...	20995

CR1 用インジケータ並べ替えツール

MetaTrader 4 でチャートに導入されているインジケータの順序を入れ替えるには、通常はインジケータをいったんチャートから削除して、所望の順序で挿入し直す必要があります。これは大変面倒ですので、簡単にインジケータの順序を並べ替えられるツールをご用意しています。以下の手順でご使用ください。

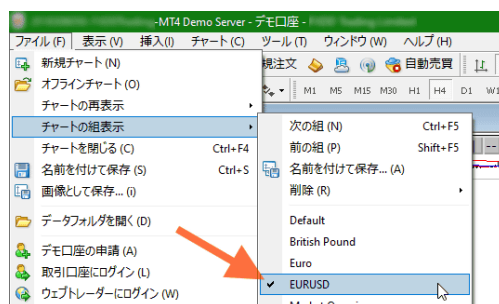
インジケータを並べ替える手順

インジケータを並べ替えたいチャートが属する「組表示」を確認する

インジケータを並べ替えたいチャートが含まれる「組表示」の名前を確認して覚えておいてください。

「組表示」の名前は、右図のようにお使いの MetaTrader 4 のメニューから、[ファイル] → [チャートの組表示] と選び、チェックがついているものを探することで確認できます。

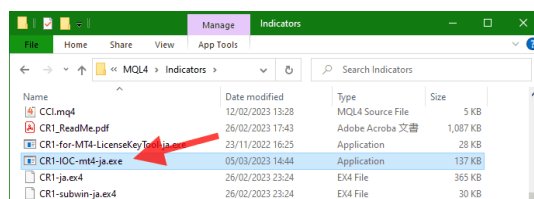
右図の例では「EURUSD」です。



CR1 用インジケータ並べ替えツールを起動する

お使いの MetaTrader 4 のメニューから、[ファイル] → [データフォルダを開く] と選んでデータフォルダを開きます。

データフォルダから[MQL4] → [Indicators]フォルダを開き、“CR1-IOC-mt4-ja.exe” をダブルクリックして起動します。



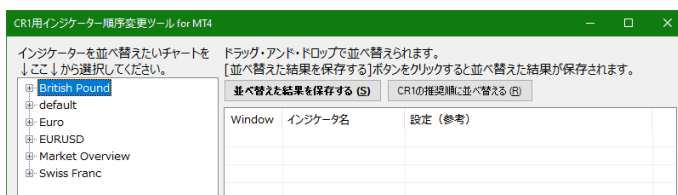
CR1 用インジケータ並べ替えツールが起動し、右図のように表示されます。ここで動作中の MetaTrader 4 をすべて終了させてください。

MEMO

実際には、インジケータを並べ替える MetaTrader 4 だけを終了させれば十分ですが、間違いを防止するためにすべての MetaTrader 4 を終了させることをおすすめします。

インジケータの並べ替えを安全に行うため、すべての MetaTrader 4 を終了させてください。

MetaTrader 4 を終了させると、右図のような画面に切り替わります。

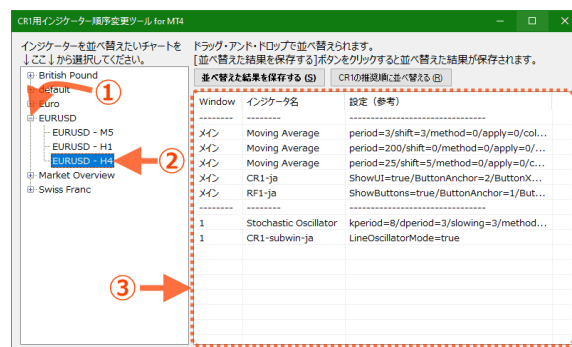


[次のページへ続く](#)

インジケータを並べ替えたいチャートを選択する

インジケータを並べ替えたいチャートを探します。
左側に表示されているツリーの中から、前の手順で調べておいた「組表示」の名前の左側にある [+] をクリックして展開し (①)、目的のチャートをクリックして選択します (②)。

右側には、このチャートに導入されているインジケータの一覧が表示されます (③)。



インジケータを並べ替える

[CR1 の推奨順に並べ替える] ボタンをクリックすると、このチャート内のインジケータを CR1 が正しく動作する順序に自動的に並べ替えることができます。

このほか、インジケータはドラッグ・アンド・ドロップすることで任意の順序に並べ替えることもできます。

MEMO

Window をまたがってインジケータを移動することはできません。

並べ替えた結果を保存する

[並べ替えた結果を保存する] ボタンをクリックすると、並べ替えた結果を保存できます。並べ替えた結果を保存したチャートを MetaTrader 4 で開くと、並べ替えた結果に基づいてチャートが表示されます。

他にもインジケータの順序を並べ替えたいチャートがある場合は、「インジケータを並べ替えたいチャートを選択する」の手順からを繰り返し実行してください。

並べ替えた結果を確認する

MetaTrader 4 を起動して、インジケータを並べ替えたチャートを開き、チャートが正しく表示されていることを確認してください。

以上で、インジケータの並べ替え作業は終了です。

MEMO

万が一、チャートの表示がおかしくなった (一部のインジケータが消失しているなど) 場合は、直ちに「CR1 用インジケータ並べ替えツールの並べ替え結果を元に戻す」に記載の手順で復旧させてください。

CR1 用インジケータ並べ替えツールの並べ替え結果を元に戻す

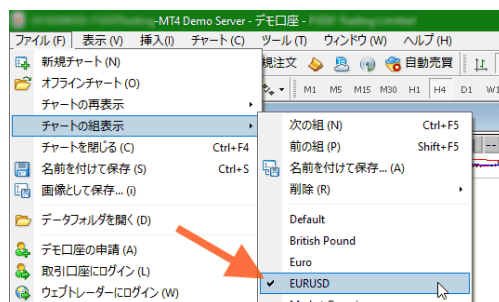
「CR1 用インジケータ並べ替えツール」の作成には万全を期しておりますが、万が一「CR1 用インジケータ並べ替えツール」を使用したことによりチャートの表示に不具合が発生した場合は、この節に記載の手順で復旧させてください。

問題が発生したチャートが属する「組表示」を確認する

問題が発生したチャートが含まれる「組表示」の名前を確認して覚えておいてください。

「組表示」の名前は、右図のようにお使いの MetaTrader 4 のメニューから、[ファイル] → [チャートの組表示] と選び、チェックがついているものを探すことで確認できます。

右図の例では「EURUSD」です。



組表示のプロファイル・フォルダを開く

お使いの MetaTrader 4 のメニューから、[ファイル] → [データフォルダを開く] と選んでデータフォルダを開きます。続けて、データフォルダの中の「profiles」フォルダを開き、先ほど確認した「組表示」の名前がついたフォルダを開きます。

MetaTrader 4 を終了させる

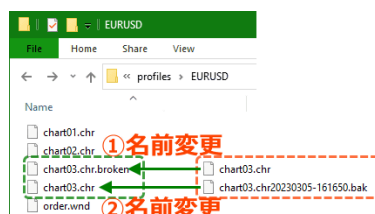
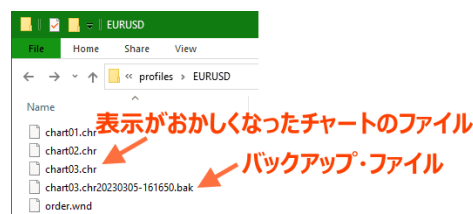
ここで、次の手順に移る前に、必ず MetaTrader 4 を終了させてください。

チャートの設定ファイルを復元する

「組表示」の名前がついたフォルダの中には「chartXX.chr」というファイルが 1～数個存在します。「CR1 用インジケータ並べ替えツール」で書き換えたファイルには、自動的にバックアップファイルが作成されています。

バックアップ・ファイルには、元のファイルの後ろに「作業日-作業時刻.bak」が追加された名前がつけられています。

表示がおかしくなったチャートのファイルの拡張子を変更します。（右図①）※右図の例では、元のファイル名に「.broken」を追加していますが、他の拡張子でも構いません。続けて、バックアップファイルのファイル名から「作業日-作業時刻.bak」の部分を削除します。（右図②）



復元結果を確認する

MetaTrader 4 を起動して、問題が起きていたチャートが元通りに表示されることを確認してください。

以上で、復元作業は終了です。

設定

CR1 対応版インジケータの設定項目は、原則として MetaTrader 4 に付属している標準のインジケータと同じです。

CR1 対応版インジケータ固有の設定項目については、以下をご覧ください。

高度な設定

このインジケータが使用するイベント ID

ab	==== 高度な設定 ====	
123	このインジケータが使用するイベントID (この番号から32個を使用します。...	20995

この設定は以下に示す不具合が発生している確証がある場合のほかは、絶対に変更しないでください。

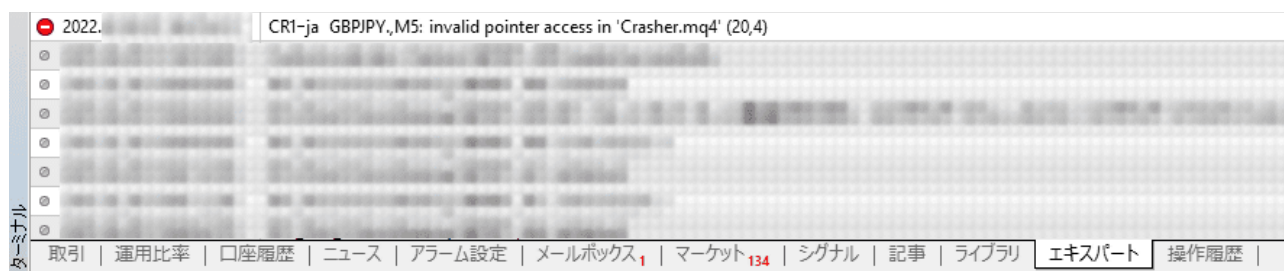
CR1 や CR1 対応版インジケータが使用するイベント番号の範囲と他のインジケータと使用するイベント番号の範囲が重複していると、CR1 や CR1 対応版インジケータと他のインジケータの両方が誤作動を起こします。その問題が発生したという確証があり、本設定を変更することで解決する目処がある場合に限って、この設定を変更してください。設定を変更する場合は、全てのチャート、すべての CR1-ja、CR1-subwin-ja および CR1 対応版インジケータで同じ番号に設定してください。

トラブル・シューティング（こんなときは）

CR1 対応版インジケーターが全く動作しない／強制終了したようだ

ご迷惑をおかけいたしましたこととお詫び申し上げます。まことに恐れ入りますが、販路毎に設定された方法でお問い合わせをお願いいたします。

お問い合わせの際は、原因の調査をスムーズに進めるため、お手数でも、MetaTrader 4 の [ターミナル] を開き、[エキスパート] タブの画面キャプチャを併せてお送りいただけますようお願い申し上げます。特に強制終了に関する項目は、行の左端に赤いマーク（下図）がつきますので、その行が含まれるようにご配慮願います。



CR1 用インジケーター並べ替えツールを使ったらチャートの表示がおかしくなった

直ちに「CR1 用インジケーター並べ替えツールの並べ替え結果を元に戻す」に記載の手順で復旧させてください。

バージョン履歴

2.013 (2023 年 3 月 11 日)

正式版初版

2.017 (2023 年 4 月 9 日)

- [機能追加] CR1 対応版ボリンジャー・バンド (Bollinger Bands (CR1-ja).ex4) を追加しました。

2.019 (2023 年 4 月 22 日)

- [機能追加] CR1 対応版 RSI (RSI (CR1-subwin-ja).ex4) を追加しました。
- [機能追加] CR1 対応版ストキャス (Stochastic (CR1-subwin-ja).ex4) を追加しました。
- [不具合修正] CR1 対応版ボリンジャー・バンド (Bollinger Bands (CR1-ja).ex4) をオンライン・チャートで使用した場合、初期表示で表示された部分より右側のグラフが正しくない不具合を修正しました。
- [機能改善] CR1 対応版移動平均線を若干軽量化しました。

2.019A (2023 年 5 月 2 日)

- [不具合修正] CR1 対応版 RSI (RSI (CR1-subwin-ja).ex4) において、最も古いヒストリカル・データの時刻周辺のチャートを一度でも表示すると、その後 RSI のラインが消失する場合がある不具合を修正しました。
- [不具合修正] CR1 対応版 RSI (RSI (CR1-subwin-ja).ex4) において、トレーニング・モード中に上位足で CR1 の時刻を変更すると、下位足の RSI の描画が正しくなくなる場合がある不具合を修正しました。

2.022 (2023 年 5 月 14 日)

- [機能追加] CR1 対応版 ZigZag (ZigZag (CR1-ja).ex4) を追加しました。

2.022A (2023 年 5 月 16 日)

- [不具合修正] CR1 対応版 ZigZag (ZigZag (CR1-ja).ex4) において、ヒストリカル・データが非常に多い場合（おおむね 100 万本超の場合）、条件によっては動作が非常に重たくなる不具合を修正しました。

2.022B (2023 年 5 月 25 日)

- [機能追加] CR1 対応版 MTF ローソク (MTF Candle (CR1-ja).ex4) のベータ版を追加しました。

2.022C (2023 年 5 月 27 日)

- [不具合修正] CR1 対応版 MTF ローソク (MTF Candle (CR1-ja).ex4) において、上ヒゲにローソク本体の色が適用されている不具合を修正しました。

2.025 (2023 年 7 月 22 日)

- [機能追加] CR1 対応版 MTF ローソク (MTF Candle (CR1-ja).ex4) を正式版に更新しました。

2.026 (2023 年 9 月 10 日)

- [機能改善] CR1 対応版 MTF ローソク (MTF Candle (CR1-ja).ex4) で、表示時間足を設定できるようになりました。
- [不具合修正] CR1 対応版 MTF ローソク (MTF Candle (CR1-ja).ex4) で、ボタンを表示しない設定にしてもボタンが表示されたままである不具合を修正しました。

2.027 (2023 年 10 月 25 日)

- [不具合修正] Bollinger Bands (CR1-ja), Moving Average (CR1-ja), MTF Moving Average (CR1-ja), RSI (CR1-subwin-ja), Stochastic (CR1-subwin-ja), ZigZag (CR1-ja) の各 CR1 対応版インジケーターにおいて、「表示選択」で表示する時間足を一部の時間足に限定している場合、インジケーターが強制終了する場合がある不具合を修正しました。

2.027A (2023 年 10 月 29 日)

- [機能改善] Stochastic (CR1-subwin-ja) において、終値だけで計算するモード (Close/Close) を追加しました。なお、標準の設定は高安値で計算するモード (Low/High) です。

2.032 (2023 年 11 月 29 日)

- [機能追加] CR1 対応版 MA Ribbon (MA Ribbon (CR1-ja).ex4) を追加しました。
- [不具合修正] CR1 対応版 MTF Moving Average (MTF Moving Average (CR1-ja)) において、チャートが開かれた直後の表示が不正となる場合がある不具合を修正しました。
- [不具合修正] CR1 用インジケーター並べ替えツールにおいて、並べ替えた結果が保存されない場合がある不具合を修正しました。
- [不具合修正] CR1 用インジケーター並べ替えツールにおいて、CR1 の推奨順に並び替える場合、サブウィンドウの結果が推奨順にならない不具合を修正しました。

2.034 (2024 年 1 月 6 日)

- [不具合修正] CR1 のトレーニング・モード中に上位足 (例えば日足) でローソクを送った場合、下位足において CR1 の時刻より未来のインジケーターの動きが描画されてしまう場合がある不具合を修正しました (v2.034 に含まれるすべての CR1 対応版インジケーターがこの修正の対象です)。

2.034A (2024 年 1 月 18 日)

- [不具合修正] Bollinger Bands (CR1-ja), MA Ribbon (CR1-ja), Moving Average (CR1-ja), MTF Moving Average (CR1-ja), RSI (CR1-subwin-ja) において、適用価格を Median, Weighted, Typical のいずれかに設定すると、未確定足部分のインジケーターの値が不正になる不具合を修正しました。

2.038 (2024 年 3 月 30 日)

- [機能追加] CR1 対応版一目均衡表 (Ichimoku (CR1-ja).ex4, Ichimoku-R (CR1-ja).ex4) を追加しました。

2.042 (2024 年 5 月 5 日)

- [不具合修正] CR1 for MT4 2.042 での不具合修正に伴い、ヒストリカルデータの最新のローソクでの CR1 対応版 MTF ローソク (MTF Candle (CR1-ja).ex4) の表示が不正となる不具合を修正しました。